

経営比較分析表

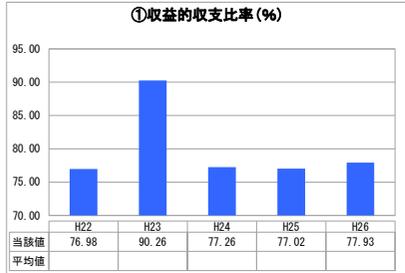
佐賀県 みやき町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.14	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,712	51.92	495.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,061	0.50	2,122.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

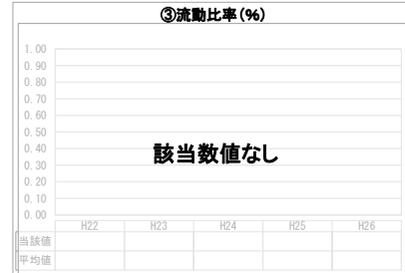
1. 経営の健全性・効率性



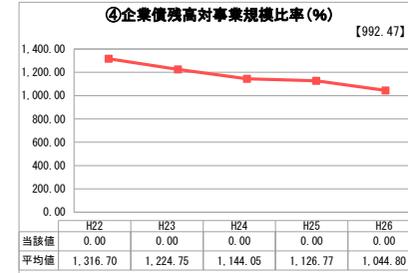
「単年度の収支」



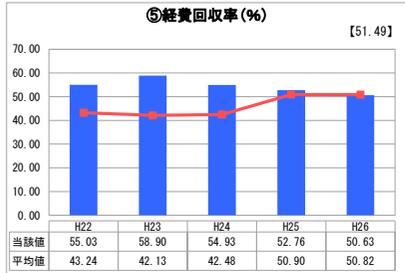
「累積欠損」



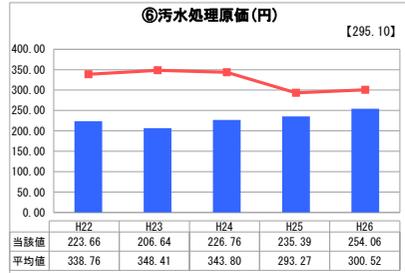
「支払能力」



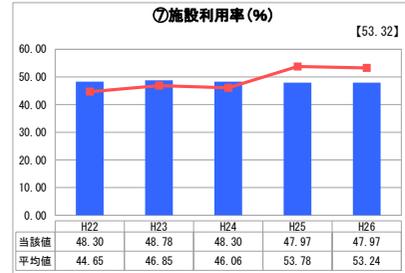
「債務残高」



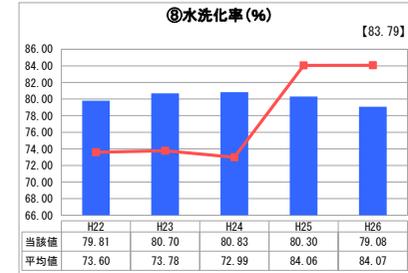
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

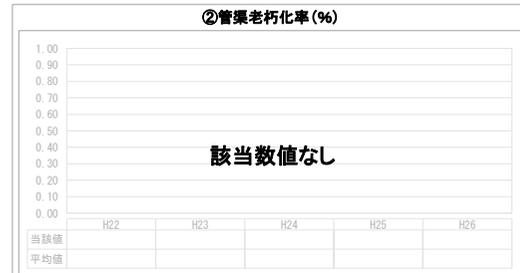


「使用料対象の捕捉」

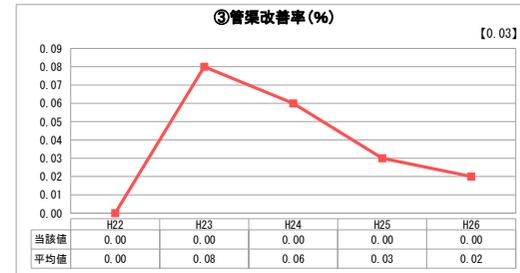
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の農業集落排水事業は、平成14年度で2処理区域の整備が完了し、現在は管理運営のみとなっている。
 施設利用率、水洗化率は横ばいの状況になっており、類似団体平均値より低い状況になっている。経費回収率は約50%となっており、使用料のみでは賄うことができていない。経費回収率を上昇させるためには、加入促進を図り、水洗化率を向上させ、使用料を増収させる必要がある。
 使用料の見直しを含め、収入の確保及び維持管理費の縮減に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

1処理区域は、平成10年度に供用を開始し、16年が経過している。
 これまで老朽化対策は実施してきていないが、平成26年度に施設の機能診断調査を行い、平成29年度から計画的な施設の更新工事を実施する。財政計画に影響がでないよう、計画的に実施していく。

全体総括

現在の収入では、運営に必要な収益が確保されていない状況である。使用料の見直しを検討するとともに、水洗化率を向上させ、使用料金を確保することが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。